

NPO法人
あしよろ観光協会だより

No. 34

蛭夷 らいちょう



2014 ウッドキャンドル ナイト



ごあいさつ

あしよる観光協会

理事長 家常尚詞

当協会の運営・事業の推進にご協力を戴き厚く御礼申し上げます。

長かった冬の寒さも和らぎ、待ち遠しかった春が巡ってきました。観光シーズンが到来し、道の駅あしよる銀河ホールへ多くのお客様をお迎え出来ることを楽しみにしています。足寄町の案内役として、豊かな自然・景観・温泉・食・特産品をPRして参ります。この観光資源を活性化させることは地域の消費と雇用につながります。裾野が広い観光は成長産業であり、関係機関と連携を図りながら取り組んでいきたいと思っています。

イベントにおいては主催の七事業、共催の三事業を予定しております。マンネリ化しない様業を企画して参りますので町民の皆様には是非ご参加頂きたくお待ちしております。二月に実施したウッドキャンドルナイトは今回陸別しはれフェスティバル・本別雪あかりナイトと同日開催とし、共同チラシを作成しPRしました。これを機に三町の観光協会事務局が集まり三町の連携を再確認しました。ネイパルあしよるは指定期間が三月末で終了しますが、公募の結果、平成三十年三月まで引き続き道教育委員会から指定管理の決定を受けました。多くの方々に親しまれる施設として七年の実績を基に利用者の安心安全な受入れ体制を続けて参ります。

観光協会が他に行っている事業としては、国保病院売店・十勝バス窓口業務・里見が丘キャンプ場・千春映画ロケセット・オンネトー茶屋等の管理・運営があります。町内外のイベント会場への特産品の出張販売も行っております。町民の皆さまには行き届かない点がございますようお願いします。真摯に受け止め改善に努める所存であります。

役職員が一丸となり営業努力と経費削減に努め、健全経営を目指して参ります。これからもご支援・ご協力をお願い申し上げます。

イベント紹介 この一年



大収穫祭 (H25.10.13)



町内観光体験ツアー (H25.7.10)



HTBテレビ取材 (H25.6.21)



オンネトー物語 (H25.9.29)



オンネトー物語雌阿寒岳登山 (H25.9.29)



ウッドキャンドルナイト (H26.2.2)



ウッドキャンドルin雪原P (H26.2.22)



道の駅まつり・ペレット足湯登場 (H25.6.23)



雌阿寒岳安全祈願祭 (H25.6.2)

雑感 足寄観光について

十勝毎日新聞社屋駐在 菊池宗矩

「足寄」「観光」で弊社の二〇一三年の過去記事を検索してみると、その数一八件。それだけたくさんの「ネタ」があったことになりました。自然環境、施設、ルートが多様性を上げれば管内屈指の恵まれた地域であることが分かります。

足寄に赴任してもうすぐ三年。以前のイメージは三メートルにもなるラワンブキ、オンネトー、松山千春さんだったと記憶します。通りかかった街並みは区画整理のため道がうねっていました。

しかし、今の足寄は違います。道の駅・あしよる銀河ホール21は道内十傑に数えられる人気スポットになりました。オンネトーの入り込みは管内二位の四十四万人と安定しています。道立足寄少年自然の家・ネイパルあしよるの延べ利用者数も昨年、五十万人を突破しました。数字で見ても足寄観光のポテンシャルの高さが表れています。ただ、観光客数はどうしても限られています。「十勝は一つ」で管内周遊策を模索するのは必要なことですが、足寄にとっては「外貨獲得」も重要なことではないかと感じます。観光は自治体間のパイの奪い合いでもあるのです。足寄の中で少しでも長い時間滞在してもらい、お金を落としてもらう一工夫が求められる時代に突入しているのではないのでしょうか。

例えば、阿寒方面から市街地に向かうとき、螺湾にラワンブキやシカ肉を提供するカフェがあったら、螺湾方面での化石発掘は観光客と絡められないだろうか、大菅地を中心に頑張っている農家民泊は町内に拡大できないか、茂喜登山方面の雄大な牧場風景は観光資源にならないか、町内を取材で巡っていると、ふとこんなことを考えてしまいます。

道東道が札幌圏から足寄までつながりました。今年度上期(四・九月)の管内観光入り込み客数は過去最高を更新しています。今ある資源を生かし、滞在型、体験型の観光で、「外貨」を引っ張ってこようではありませんか。

2014年度 足寄町イベント開催予定表

(白抜きはあしよる観光協会主幹事業です)

開催予定月日	イベント名	主催	イベントの主な内容	開催場所	問い合わせ先	電話 (0156)
5月25日(日)	第33回 足寄ふるさと花まつり	同実行委員会	足寄町里見が丘公園の木桜・芝桜のライトアップを2週間程度実施し、5月最終日曜日に芝桜・つつじを楽しむながらイベント・焼肉など町外・町内の人々が楽しめる場を提供します。	里見が丘公園	経済課 林業商工観光室	25-2141 内線 241 242
6月1日(日)	第63回 雌阿寒岳安全祈願祭	足寄町 あしよる観光協会	今年1年の山の静寂と登山者の安全を祈願したあと、登山を行います。	雌阿寒岳登山口 (温泉側)	あしよる観光協会	25-6131
6月22日(日)	第9回道の駅まつり	足寄町 あしよる観光協会	道の駅あしよる銀河ホール21を会場に、町中に賑わいを創出し町民や観光客に町のPRを行います。(特産品の販売、イベント、フリーマーケットなど)	道の駅あしよる 銀河ホール21	あしよる観光協会	25-6131
7月9日(水)	第13回 観光名勝地視察ツアー	足寄町 あしよる観光協会	より多くの町民に足寄町の観光名所を知ってもらうために町内の名所、文化財をバスで回るツアーです。	町内各地	あしよる観光協会	25-6131
8月3日(日)	全国一斉国立公園清掃デー グリーン阿寒オンネトー 地区清掃活動	足寄町 あしよる観光協会	毎年8月の第1日曜日に全国一斉に実施。足寄町も阿寒国立公園の「グリーン阿寒」事業に参加し、オンネトー地区清掃活動を実施します。	オンネトー遊歩道 湯の滝遊歩道	あしよる観光協会	25-6131
8月15日(金)	第35回 足寄ふるさと盆踊り 両国花火大会	同実行委員会	賞金つき仮装盆踊り大会、子ども盆踊り大会、お楽しみ抽選会、花火大会などが予定されています。	足寄町民センター前	経済課 林業商工観光室	25-2141 内線 241 242
9月28日(日)	第15回 2014 オンネトー物語	足寄町 あしよる観光協会	オンネトーの自然を満喫するイベント。自然ふれあい教室、軽音楽コンサート、農産物販売等を行います。	オンネトー 国設野営場ほか	あしよる観光協会	25-6131
10月12日(日)	第13回 大収穫祭・秋の物産市	足寄町 あしよる観光協会	農産物や特産品を生産者が自ら販売・PRし足寄町の味覚を紹介します。	道の駅あしよる 銀河ホール21	あしよる観光協会	25-6131
2015年 1月31日(土)	第4回 ウッドキャンドルナイト	同実行委員会	足寄町の森林資源であるカラマツ材を有効活用したウッドキャンドルやアイスキャンドルを灯し冬に町民が楽しめる場を創出します。	道の駅あしよる 銀河ホール21	あしよる観光協会	25-6131
2015年 2月8日(日)	第28回 雌阿寒温泉 スキーハイキング	足寄町 あしよる観光協会	歩くスキーとスノーシューで、冬の阿寒国立公園雌阿寒温泉・オンネトー地区の自然観察と森林浴を体験、終了後は温泉で休養します。	雌阿寒温泉を 発着するコース	あしよる観光協会	25-6131

注：上記のイベントの日程や内容は、変更・中止される場合があります。



「第8回 道の駅まつり」に 初参加させて頂いて!!

小樽市在住 シンガーソングライター しもま ひろし



松山千春さんの故郷「足寄町」でライブをやって見たい!! 私を抱いた夢が現実のものとなったのだ。昨年六月二十二日(土)道の駅あしよる銀河ホール21イベント広場前にて、道の駅まつり協賛イベントとして私のライブをさせて頂きました。先ずはこの場をおかりして、あしよる観光協会様並びに足寄町役場様、関係各位の皆様方、そして足寄町民の皆様方には大変お世話になりました。心から御礼を申し上げます。

松山千春さんのファンの一人として、唄い手としてこの企画を立ち上げ、それに賛同してくれた有志達と共にライブイベント実現に向けて計画を進めて参りました。

素人同然のこんな私の願いを快く引き受けて下さる町はこの広い北海道を探しても、いや日本中何処を探しても引き受けてくれる町等他には絶対無い、そう言っても過言じゃないと私はそう思っております。そして数多くの町民の皆様や観光に訪れた方々の前で

唄わせて頂いた事、ステージから臨む銀河ホールの高い塔の奥に広がる青い空：込み上げる涙を押し殺しながら一曲一曲想いを込めて唄わせて頂きました。

他にもライブのオープニングを勤めて下さったり、廻りのお世話を下さった足寄町の友達に感謝の気持ちを伝えたいです。ライブの途中で激しい雨になりましたが、観客席の皆様方はテントの中で熱い声援を送って下さいました。雨が上がり空一面オレンジ色に染まっていたのが非常に印象的でした。「大空と大地の中で」色んな場所でも唄わせて頂きましたが、やはり聖地「足寄町」で唄わせて頂いたのが何よりも想い出となりました。

さて今年の道の駅まつりも是非とも参加させて頂きます。どうか皆様方のお力を私にお貸し下さいます様宜しくお願い致します。そして松山千春さんの故郷足寄町を皆様と共に全道、全国にもっともつと発信させる手助けになれたならと私はそう思っております。



寒温泉へ向けて出発。十時からの開会式のあと、参加して下さった町内外の皆さんは「歩くスキーコース」と「スノーシューコース」に分かれていざ出発です。

スノーシューコースではスノーシュー(西洋かんじき)を履いて雌阿寒岳の麓の原生林の中、片道三キロ・約五十分のトレッキングを楽しみました。

そしてついに、一面銀世界の氷結したオンネットの湖面に到着しました。誰もひとりとして足跡のついていない雪原の前に参加者一同大感激です。今年は例年に比べて気温が高く、



雪散歩 オンネット スキーハイキング

阿寒国立公園指導員 田村 勝夫

町有バスにて、午前九時に足寄町民センターを雌阿

湖面の氷の厚さが心配されましたが、十分な安全を確認して渡りきることができました。帰りも約三キロ・約一時間をかけて帰路へつきました。

山の宿・野中温泉様の「温かい豚汁」と「温泉」の御もてなしにより冷え切った身体を芯から温めることが出来ました。

気軽に参加できる「スノーシューコース」は子供から高齢者まで、参加者が年々増えてきて喜ばしいことだと感じております。

今年は阿寒国立公園指定八十年の記念すべき年です。あしよる観光協会のご協力による自然観察イベントを通して、雌阿寒岳やオンネット周辺の自然環境保全に関わっていききたいものです。今後も皆様のご参加をお待ちしております。



「ありがとう牧場しあわせチーズ工房」がめざすこと

吉川 友二

「ありがとう牧場」というのが私達の牧場の名前です。おかげさまで「ありがとう牧場」は十三年目を迎え、「農家民宿 ありがとう」と「ありがとう牧場しあわせチーズ工房」は二年目を迎えました。

チーズ工房を作った第一の目的は放牧酪農の普及です。消費者の方々に放牧酪農の製品は美味しくて健康に良いことを知っていただき、もっと放牧酪農の牛乳が欲しいと言ってもらおうことです。放牧酪農が普及することによって、輸入穀物に頼らなくてもよい、環境に調和した持続的な酪農が

可能だと考えます。

次の目的は地域の活性化です。活性化のためには農村観光と新規就農者の受け入れの二つを考えています。「しあわせチーズ工房」のような農家製チーズ工房が十数軒できれば、農家チーズを食べ歩く観光客が足寄に集まってくるでしょう。

若者に就農したいと思わせるためには、我々が農業を日々楽しむ工夫をすることです。我々を見て足寄の街で育った人が農業を志すようになることが目標です。足寄町の高台には戦後に開拓された牧草地が広がっています。東には阿寒岳の噴煙、南には日高山脈の稜線、西には東大雪山系の山なみを見晴らすことのできる地です。仕事の合間に目を上げるだけでなんとも贅沢な気分になることが出来ます。この自然環境に魅力的な人間が加われば素晴らしい農村になります。これからはこころの開拓の時代だと思っています。



※見晴るかすⅡはるかに遠くを見渡す



女子会 in Ashoro vol.1

昨年足寄町にオープンした『ヒツジ堂』さん
観光協会の女子スタッフがおじゃまして、美味しい食事&スイーツをレポートします



季節の野菜たちのフリット



足寄産きのこ勝産マッシュの Pasta



羊のロースのグリル



短角牛(北十勝ファーム)のタリアータ



本日のデザート(ティラミス)



ごちそうさま

素材の
旨みが充分

ジギスカン
じゃない羊!
ジューシー!!!

店内は
清潔感が
あって素敵

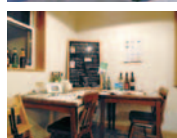
初めて食べた羊の内臓
が美味しかった(°o°)/
また、カラフル野菜も
デザートも、女子は
大好きです

十勝の食材中心の
メニューがうれしい
特にコリ根の
フリッターGOOD!!

ヒツジ堂 情報

営業時間

ランチ 12:00~14:30
ディナー 18:00~23:00
日曜日 12:00~19:00
水曜日定休
(シーズンにより変更あり)
足寄町南1条1丁目14
☎0156-25-6810



メニュー例

ランチ

羊のカレー ¥800
気まぐれパスタ ¥900
石田めん羊牧場の羊料理 ¥1400

ディナー

短角牛のタリアータ ¥1200
羊のフリル ¥1500
羊のロースのグリル ¥2400

お肉中心のメニューかと思いきや、野菜の美味しさに感動いたしました。女子の大好きなカラー野菜と手の込んだスイーツ、プラス足寄産のお肉がいただける大満足のヒツジ堂さんでした。

ネイパルあしよろ

社会教育主幹 阿部 立



和気あいあいです。プレ、世代を超えた交流の機会となりました。当所本来の目的である青少年の健全育成に加えて、日頃から生涯学習の場として活用いただいている成果の現れと思っています。

ネイパルあしよろは、管内唯一、道内でも六番目に設置された道立少年自然の家として平成九年にスタート。平成十九年から指定管理制度に切り替わり、以降、あしよ



ろ観光協会が運営母体となっています。この四月からは四回目の受託となります。近年では年間四万人前後の利用をいただきます。昨年五月には、北海道別海高等学校の宿泊学習で利用者のべ五十万人を越えました。これもひとえに暖かく見守りささえてくださっている足寄町はじめ近隣町、そして足を運んでくださる皆さまのおかげです。

当所はスタート以来から管内外の小学校、中学校、高等学校等の宿泊学習を中心に修学旅行、少年団や部活動での対外試合の宿泊、合宿や交流の場所として数多く利用いただいております。最近ではファミリーでの自然体験や家族同士の交流お泊まり会、さらには企業や団体、大学サークルや趣味の研修など利用目的も多岐にわたっています。利用の際の活動メニューとして自然散策や野外活動のほか焼き物やアクセサリーなどの創作活動を用意しています。日帰りの利用も大歓迎。是非一度、体験してみたいかがでしょうか。四月から条例が改正され、施設名が「北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル足寄」と変わりました。一日も早く皆さまの心に定着し、今まで以上に身近で使い勝手のいい施設を目指してまいりますので、今までと変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

あしよろ観光協会役職員の紹介

役職名	氏名	幹事	監事	理事	副理事長	理事長
伊藤貴之	両角孝明	星奈美子	党崎司	瀬下正寿	三角久	佐々木昭彦
加藤公康	齊藤和之	木村昭	大西節夫	奥寺正朋	稲垣輝彦	相澤裕子
阿部孝志	八重樫明	八重樫明	瀬尾義彦	佐野大祐	吉本悦子	中谷彰
山下昇	家常尚詞					

編集後記

病院バスの運行日が楽しみで

す。診察の後、年配の方が買い物に、用事に行き来している姿は街中を明るくしてくれる。

厄介な雪でも雪かきの人があちこちで作業をしている時は街全体が生き生きとする。

街中に人の姿が多くなっても経済効果に繋がるわけではないけれど、人の姿は街の風景に活気を与えてくれる。

小さなイベントでも続けることが大切、そう思い、これからも街に活気が戻るよう遊び場を作っていきます。遊びにきてください。

理事 吉本悦子

NPO法人

あしよろ観光協会事務局

〒089-3701

北海道足寄郡足寄町北1条1丁目3

TEL 0156-25-6131

FAX 0156-25-6132

Eメール info@ashoro-kanko.jp

ホームページアドレス

http://www.ashoro-kanko.jp/